

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年4月12日(2012.4.12)

【公表番号】特表2008-546679(P2008-546679A)

【公表日】平成20年12月25日(2008.12.25)

【年通号数】公開・登録公報2008-051

【出願番号】特願2008-516452(P2008-516452)

【国際特許分類】

C 07 D 209/30 (2006.01)

A 61 K 31/404 (2006.01)

A 61 K 31/5377 (2006.01)

A 61 K 31/541 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 P 25/22 (2006.01)

A 61 P 25/24 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 25/18 (2006.01)

A 61 P 25/04 (2006.01)

A 61 P 13/02 (2006.01)

【F I】

C 07 D 209/30 C S P

A 61 K 31/404

A 61 K 31/5377

A 61 K 31/541

A 61 P 43/00 1 1 4

A 61 P 25/22

A 61 P 25/24

A 61 P 25/28

A 61 P 25/18

A 61 P 25/04

A 61 P 13/02

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年2月27日(2012.2.27)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

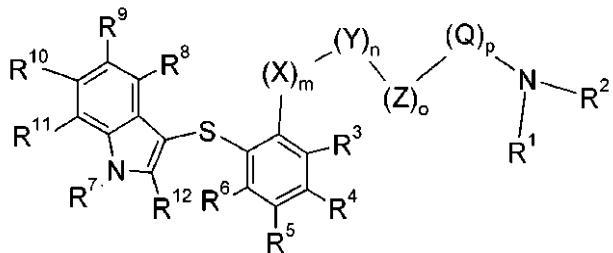
【特許請求の範囲】

【請求項1】

一般式IV

【化1】

式IV



で表される遊離塩基またはその塩としての化合物であって、

式中、R¹～R²が水素、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）およびC_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から独立して選択されるか；またはR¹およびR²が窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4～7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4～7員環を形成し；

R³～R⁶およびR⁸～R¹²が水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）、C_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、アミノ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）アミノ、ジ-(C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）カルボニル、アミノカルボニル、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）アミノカルボニル、ジ-(C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノカルボニル、ヒドロキシ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）オキシ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルファニル、ハロ-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、ハロ-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニル、ハロ-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルファニルおよびC_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニルから独立して選択され；

R⁷が水素、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）およびC_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から選択され；

XがCH₂、CHR¹³またはCR¹⁴R¹⁵からなる群から選択され；

YがCH₂、CHR¹⁶およびCR¹⁷R¹⁸からなる群から選択され；

ZがCH₂、CHR¹⁹およびCR²⁰R²¹からなる群から選択され；

QがCH₂、CHR²²およびCR²³R²⁴からなる群から選択され；そして

m、n、oおよびpが独立して0または1であって、m+n+o+pは1、2、3または4であり、ただし、m+n+o+pが1である場合には、X、Y、ZおよびQがいずれもCH₂でないことを条件とし；

R¹³～R²⁴がC_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）およびC_{3.8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）からなる群から独立して選択される、化合物。

【請求項2】

R¹およびR²が水素およびC_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から独立して選択されるか；またはR¹およびR²が窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4～7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4～7員環を形成する、請求項1記載の化合物。

【請求項3】

R³～R⁶およびR⁸～R¹²が水素、ハロゲン、ニトロ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、ジ-(C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノ、C_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）オキシおよびC_{1.6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニ

ルから独立して選択される、請求項1および2のいずれか1つに記載の化合物。

【請求項4】

R³～R⁶が水素、ハロゲンおよびC_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）オキシから独立して選択される、請求項3記載の化合物。

【請求項5】

R⁸～R¹²が水素、ハロゲン、ニトロ、C_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、ジ-(C_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノ、C_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）オキシおよびC_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニルから独立して選択される、請求項3記載の化合物。

【請求項6】

R⁷が水素およびC_{1～6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から選択される、請求項1～5のいずれか1つに記載の化合物。

【請求項7】

X、Y、ZおよびQがCH₂である、請求項1～6のいずれか1つに記載の化合物。

【請求項8】

以下の遊離塩基またはその塩としての化合物リスト：

【表1】

化合物No	名称
1	[2-[5-フルオロ-2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
2	[2-[2-(6-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
3	[2-[2-(5-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
4	[2-[2-(4-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
5	[2-[2-(7-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
6	[2-[2-(7-メトキシ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
7	[2-[5-フルオロ-2-メチル-IH-インドール-3-イルスルファニル]-フェニル]-エチル]-メチルアミン
8	[2-[2-(5-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
9	[2-[2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
10	[2-[2-(7-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
11	[2-[2-(OH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
12	[2-[2-(1-メチル-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
13	[2-[5-クロロ-2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
14	[2-[5-クロロ-2-(6-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
15	[2-[5-クロロ-2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
16	[2-[5-フルオロ-2-(6-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-メチルアミン
17	[2-(2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-5-フルオロ-フェニル)-エチル]-メチルアミン
18	[2-[2-(6-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-4,5-ジメトキシフェニル]-エチル]-メチルアミン
19	[2-(2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-4,5-ジメトキシフェニル]-エチル]-メチルアミン
20	[2-(2-(OH-インドール-3-イルスルファニル)-4,5-ジメトキシフェニル]-エチル]-メチルアミン
21	[4-(2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル)-ブチル]-メチルアミン
22	[4-[2-(4-メトキシ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブチル]-メチルアミン
23	[4-[2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブチル]-メチルアミン
24	メチル-[4-[2-(1-メチル-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブチル]-アミン
25	[3-[2-(4-クロロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-メチルアミン
26	[3-[2-(4-メトキシ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-メチルアミン
27	ジメチル-[3-[2-(3-メチルアミノ-ブロピル)-フェニル]-IH-インドール-5-イル]-アミン
28	メチル-[3-[2-(7-ニトロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-アミン
29	[3-[2-(6-メタンスルホニル-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-メチルアミン
30	[3-[2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-メチルアミン
31	[3-[2-(6-フルオロ-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-メチルアミン
32	メチル-[3-[2-(1-メチル-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-アミン
33	メチル-[3-[2-(5-メチル-IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-ブロピル]-アミン
34	[2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチルアミン
35	[2-(IH-インドール-3-イルスルファニル)-フェニル]-エチル]-ジメチルアミン
36	[3-[2-(モルホリン-4-イル-エチル)-フェニルスルファニル]-IH-インドール
37	[3-[2-(オモルホリン-4-イル-エチル)-フェニルスルファニル]-IH-インドール

から選択される、請求項1～7のいずれか1つに記載の化合物。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0033】

「R¹およびR²が窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4~7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4~7員環を形成する」という語句は、R¹およびR²が連結する窒素、および3~6個の原子（2~6個の炭素原子および0~1個のヘテロ原子（硫黄および酸素から選択される）から選択される）により環が形成され、環が0または1個の二重結合を含む環系を表す。R¹、R²およびこれらが連結する窒素によって形成される環の例としては、ピロリジン、ピペリジン、モルホリンおよびチオモルホリンが挙げられる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0036

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0036】

で表される遊離塩基またはその塩としての化合物であって、

式中、R¹~R²が水素、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）またはC_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から独立して選択されるか；またはR¹およびR²が窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4~7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4~7員環を形成し；

R³~R⁶およびR⁸~R¹²が水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）、C_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、アミノ、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）アミノ、ジ-(C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノ、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）カルボニル、アミノカルボニル、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）アミノカルボニル、ジ-(C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）)アミノカルボニル、ヒドロキシ、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）オキシ、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルファニル、ハロ-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、ハロ-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニル、ハロ-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルファニルまたはC_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）スルホニルから独立して選択され；

R⁷が水素、C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）またはC_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）から選択され；

XがCH₂、CHR¹³およびCR¹⁴R¹⁵からなる群から選択され；

YがCH₂、CHR¹⁶およびCR¹⁷R¹⁸からなる群から選択され；

ZがCH₂、CHR¹⁹およびCR²⁰R²¹からなる群から選択され；そして

QがCH₂、CHR²²およびCR²³R²⁴からなる群から選択され；

m、n、oおよびpが独立して0または1であって、ただし、m+n+o+pが1である場合には、X、Y、ZおよびQがいずれもCH₂でないことを条件とし；

R¹³~R²⁴がC_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）、C_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）およびC_{3~8}-シクロアルキル（シクロアルケニル）-C_{1~6}-アルキル（アルケニル／アルキニル）からなる群から独立して選択される、

前記の化合物に関する。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0038

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0038】

式IVの化合物の別の実施態様において、R¹およびR²は水素およびC₁₋₆-アルキル（アルケニル／アルキニル）からなる群から独立して選択されるか；またはR¹およびR²は窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4～7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4～7員環を形成する。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

本発明を限定することなくさらに例証すると、式IVの化合物の1つの実施態様は、R¹およびR²が窒素とともに、0または1個の二重結合を含む4～7員環であって、場合により前記窒素の他に1個のヘテロ原子（酸素および硫黄から選択される）を含む前記4～7員環を形成する化合物に関する。1つの実施態様において、前記の4～7員環は二重結合を含まない；別の実施態様において、前記の4～7員環は1個の二重結合を含む。1つの実施態様において、前記の4～7員環に含まれる唯一のヘテロ原子がR¹およびR²が連結する窒素である。別の実施態様において、前記の4～7員環は、R¹およびR²が連結する窒素の他に1個のヘテロ原子を含む；別の実施態様において、前記のヘテロ原子は硫黄である；別の実施態様において、前記のヘテロ原子は酸素である。通常、前記の4～7員環は、モルホリンおよびチオモルホリンからなる群から選択される。